

先進地視察研修

—— 今こそ地域に根ざした自主防災組織を ——

山口市佐山地区自主防災会の取り組みから

庄原自治振興区では、本年度重点事業の一つに「地域に根ざした自主防災組織の取り組み」を掲げています。その実現に向け、9月22日(木)自治会長・事務局長26名と市職員2名の計28名が、自主防災に先駆的に取り組んでいる山口市佐山地区自主防災会を訪ね研修を深めました。以下、今号と次号でその概要を報告します。

今号では、佐山地区自主防災会の活動に深く係っているNPO法人ぼうぼうネット事務局長山崎 隆弘氏からの「わかりやすい防災から備えを考える！～動く！自主防災組織づくり～」をテーマとした話を報告します。

一般的には「備えあれば患いなし」とよく言われますが、原典は古代中国の孔子が編纂したとされる『春秋』の注釈書『春秋左氏傳』の中に「居安思危」(安きに居て危うきを思う)、「思則有備」(思えば則ち備え有り)、「有備無患」(備え有れば患い無し)とあり、『安きに居て危うきを思う』ことこそが、災害から身を護る要である。と言うのが本来の教えのようだ。

そのためには、自分たちが住んでいる地域にはどんな災いがやってくるか、どんな被害に遭うかを予測し、その時どうするか？どう動くか？を考えておかななくてはならない。また、災いに遭った時どこに避難するかを知っているだけでなく、机上の演習を行なうことで地域を面とらえたり、地域を時間で考えることにより、地域の防災、避難行動をより現実的に考えることができるようになる。

3月11日に発生した東日本大震災で、仙台市若林区では2,800人の住民の内、約200名の死者・行方不明者が出たが、同区内の特別養護老人ホームでは50名全員が避難し助かった。それは地域の人たちの支援によるものだった。これは、地域の住民に自分の命は自分で守るという「自助」の意識が徹底していたからで、自助が「共助」へとつながった事例だ。

“しもおた一、あん時やっちゃよきゃよかった！…”と思わないためにも『いざ、その時動ける！自主防災組織づくり』をめざし、頑張りましょう！とのことでした。

「庄原は地震など災害の少ないところだ」とよく言われますが、備えあれば患い無し、今こそ万一の災害を想定し、「地域に根ざした自主防災組織の取り組み」を着実に進めて行きましょう。



第6回 役員会報告 (9月27日) 報告及び協議事項はつぎのとおりです。

- (1) 平成23年度自治会活動費(前期分)について・・・原案通りの活動費の支払を承認・決定
- (2) 自治会長手当の支払い時期等について・・・前期・後期の2回に分けて支払うことに決定
- (3) 第6回区民ウォーキングの集いについて・・・実施要領を確認・ポスター配布
- (4) 第5回自治振興区作品展について・・・11月12日・13日開催、準備作業日程等確認
- (5) 第3回のろし祭りについて・・・実施要領および任務分担確認。現地整備作業10月1日計画
- (6) 平成23年度重点事業実施について・・・自主防災組織の確立と福祉団体連携強化を確認
- (7) 民生児童委員欠員問題について・・・市担当課および民生児童委員代表との協議内容を報告
- (8) 平成24年度コミュニティ助成事業について・・・事業内容と希望申請の締切期限を説明

※ 地区社協「高齢者親善競技大会」について・・・回覧文書で周知することを了承



．．．．．活発な意見交換のなか

庄原地域市政懇談会終わる．．．．．

“参画と協働による元気なまちづくり”を進めるため、市民が主役となる「庄原市まちづくり基本条例」制定を共通テーマに、平成23年度庄原地域（旧庄原市）の市政懇談会が、去る9月14日（水）19時から庄原市ふれあいセンターで開催されました。

今年の懇談会は、区長・副区長・事務局長のみを対象とした昨年度の反省から、参加者を旧市内8自治振興区の区長・副区長・事務局長に各自治会長（総数115名）まで対象の枠を広げての開催でしたが、当日の参加者は71名でした。冒頭、滝口市長から挨拶を兼ね本年度の市政運営方針が述べられました。

続いて、自治振興課長から「庄原市まちづくり基本条例」制定へ向け、パワーポイントを使つての説明があった後意見交換に入りました。最初に「まちづくりとは」との問い掛けの背景に、いま農村を取り巻く環境は少子高齢化が進み、昔からの里山は荒廃して里山でなくなり、農家は後継ぎ不在と高齢化で耕作放棄田は増え、荒廃化している。この実態を考える時、先程説明のまちづくりでは、理念だけを追求するまちづくりとなっており、もっと具体的でハード面も含め考慮すべきではないかなどの意見が出ました。

続いて庄原地域自治振興区連絡協議会（会長 永井忠司）から要望の第1、災害・防災関係での市からの回答に対し参加者から、行政としての取り組む姿勢や認識に危機管理上の真剣さが伺えない。東日本大震災や紀伊半島を中心とした台風12号豪雨のような悲惨な状況は、本市でも何時発生するかもわからない、という危機的状況を想定する必要があるのではないかなど、白熱した意見が集中的に出されました。

要望の第2、各自治振興区や自治会内の集会所施設借り上げ助成金関係では、一定の前進した回答があったものの満足できる回答ではないため、再検討課題とすることになりました。



．．．平成23年度敬老祝賀会．．．

庄原地区社会福祉協議会会長 竹本 健三

本年度の敬老祝賀会は9月11日（日）に、庄原市長さんをはじめ多くの来賓のご出席を頂き、庄原市民会館で開催いたしました。今年の敬老対象者は1,119名（米寿を迎えられた方32名）で2人の代表者に庄原小・永末小の児童代表から花束が、庄原中の生徒代表からはお祝いの言葉が贈られました。

演芸会は、初出演の永末小4・5・6年生の「永末太鼓」で幕を開け、庄原幼稚園児の遊戯「ヘビー・ローテーション」、庄原小4年生の「よいとこ音頭」、庄原市レクリエーション協会は今春創作された「庄原ご長寿音頭」を、最後は庄原中吹奏楽部が演奏を披露し、それぞれが参加者を魅了しました。ロビーでは市老連陶芸班の作品が彩りを添え、庄原小茶道部の児童によるお茶の接待は大勢の方に喜ばれました。

運営面では自治会長さんや本町女性会の皆さん、民生委員児童委員さんに大変お世話になりありがとうございました。天候にも恵まれ盛会裏に終了することが出来たことに主催者として心より感謝申し上げます。



11月の振興区主催行事予定



1日（火）自治振興区総務企画室会議	13：30～
5日（土）子ども将棋教室	9：30～
8日（火）自治振興区理事会	13：30～
12日（土）	} 庄原自治振興区作品展 9：30～
13日（日）	
19日（土）子ども料理教室	9：30～
22日（火）自治振興区役員会	13：30～
23日（水）のろし祭り	11：00～
26日（土）子ども将棋教室	9：30～
第2・4火曜日 環境美化・防犯パトロール	
（宮内・永末・大久保東・大久保西・美湯ハイツの各自治会長）	
毎週1回 青少協防犯パトロール	16：30～

編集後記

東日本大震災の発生、さらに原発の事故、追いかけるような台風被害と続きましたが、更なる災害が起こらないことを祈るばかりです。災害に備え各自治会で「自主防災組織」を真剣に考えてみては如何でしょうか。

「自治振興区だより」が60号を迎えました。これからも編集員一同、より良い紙面をお届け出来るよう頑張ります。

皆様からのご意見ご感想をいただければと思います。

御支援よろしく申し上げます。

D 記

